



こういう人は、一度フィリオに来てみましょう。



英語が苦手な人

文法にしる、イディオムにしる、暗記で対応させるのではなく、「なぜ、そうなるのか」という理屈部分を丁寧に授業で説明します。そして、個別チェックの時間に、きちんと習ったことが身についているのかを確認していきます。これを毎週しっかりやっていけば、記憶に定着しやすいですし、「授業」と「個別チェック」を車の両輪のように活用していけば、新しく身につけた知識が、以前に勉強した知識と次々とつながっていき、自ずと実力アップが図れます。

長文読解は、ただ単に一文一文、英文を日本語訳していくのではなく、「英語特有の論理展開」を意識しながら読むトレーニングをしていきます。英語の評論文にも、日本語と同じように、「流れ＝論理展開」があって、その流れを意識しながら読んでいけば、多少、単語の意味が分からない部分があったとしても、英文全体で「何が言いたいのか＝筆者の主張」が把握できるのです。いわば、現代文の文章を読んでいくように、英文を読んでいくやり方ですが、マスターできれば、「スピーディ&正確に」英文が読めるようになります。

早慶・関関同立以上の難関私大を目指している人

夏までは、どの大学にも共通して必要な「基礎知識」を身につけることに全力を入れます。9月以降、英語につきましては、「早慶大英語」「関学英語」「関大英語」「立命英語」「同志社英語」という感じで、完全大学別対策授業を設置します。各大学の傾向を分析し、頻出部分に特化して授業をしていきますので、自分であくせく過去問をやらなくても、授業の復習をしっかりしていけば、志望校に対応する力がつきます。

そして、文系の受験生にとって、早慶・関関同立以上の難関私大に合格するためには、「選択科目＝社会」の実力を磨いていく必要があります。「社会は、暗記物だから10月からやれば間に合うだろう」と安易に考えてはいけませんよ。フィリオでは「日本史」「世界史」「政経」のそれぞれに「講義授業」と「演習授業」をセット受講で置いています。その理由は、「私立文系受験で、数学受験はともかく、社会で点取れなかったら致命傷！」と考えているからです。そして、授業では、「細かい知識」ではなく「全体像」を把握してもらうように工夫をしていますので、授業の復習をしっかりやれば、余裕で合格点を取れる力が身に付きますよ。

面倒見のいい塾を探している人

ここ数年、大手予備校以外に、様々な塾・予備校が存在しています。「映像授業」専門の予備校、「個別指導」中心の予備校などなど...どこの塾・予備校でも、「アピールポイント」はそれぞれ異なります。フィリオの「アピールポイント」はズバリ、「面倒見の良さ」です。大手予備校ほど、設備が整っているわけではありませんが、一人一人の生徒としっかり向き合い、一人一人に最適なアドバイスをしていきます。「10人」生徒がいれば、性格、得意科目、不得意科目が異なります。大手予備校と違い、「小回りのきく」フィリオだからこそできる「面倒見の良い対応」を実践していています。

(例1)「個別チェック」(英語以外に、夏期には社会でも、毎週1対1で、「授業の理解度」を確認します。)

(例2)「英単語テスト」「動詞の語法テスト」「古文テスト」等、小テストが充実。

(例3)現代文が苦手な生徒には「短文要約チェック」を実施。 などなど、他にも個別対応！

指定校推薦を考えていて、学校の授業のフォローをしてほしい人

3年生については、1学期「中間考査」、「期末考査」の定期テスト対策を英語を中心に無料イベントとして実施します。学校ごとの「テスト範囲」をあらかじめ聞いて、フィリオの講師が「予想問題」を作成して、フォローを行います。

2年生については、「中間考査」、「期末考査」の度に定期テスト対策を英語を中心に3年生同様、無料イベントとして実施します。学校ごとの「テスト範囲」をあらかじめ聞いて、フィリオの講師が「予想問題」を作成して、フォローを行います。